

試験区分	2021（令和3）年度 学校推薦型選抜／特別選抜
学部学科	国際政策学部 共通
教科科目等	小論文
出題の意図	<p>国際政策学部は、地域社会の活力ある豊かな発展に貢献するとともに、平和で豊かな国際社会の形成のために行動できる人間、すなわち「行動する国際人」の育成を目指している。入学者には、本学部のこうした理念・目的への理解と志向に加え、「行動する国際人」に必要な「学修のための基礎的能力」と「論理的・創造的な思考を表現できる能力」が求められる。</p> <p>今回の小論文では、捕鯨と鯨肉食を題材とした。国際社会のみならず、国内社会にも多様な食文化が存在する。また、ハラール対応の飲食店ができるなど、異なる食文化への配慮も進んでいるかに見える。国内外の多様性を強く意識しているはずの国際政策学部の受験生には、人びとの具体的な生の一部である食という観点からも、他者や異文化への理解を深めてほしい。同時に、理解できない他者といかに共に生きていくかも考えてほしい。それは“文化だから”という言い方で、相手に対して単に寛容になったり、相手を即座に拒絶したりすることと同義ではない。それは文化による思考停止である。他者や異文化との向き合い方を考え続けてほしい。</p> <p>採点においては、問題文に含まれるキーワード群の意味と関係を理解しているか、設問に対して適切に解答しているか、解答が論理的に書かれているか、独自の着眼や創造的な発想が見られるか、といった点を基準に評価を行なった。</p>